

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	土地改良施設維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	06	01	04	01	01
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）		主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	水田	意図	良好な水稻耕作環境が維持されるようになる。
事業内容	安定した耕作に必要な不可欠な土地改良区(水田農業者で組織)所有施設の維持管理に係る経費の3分の1について市が補助金として支出する。(3分の2は土地改良区が負担する) 排水機場運転に係る人件費、維持管理費に係る費用の9割を負担する。			
事業開始から現在までの状況変化	排水機場共同利用負担金は、土地改良区所有の排水施設へ大量の都市排水が流入することから、その施設の維持管理に係る経費の多くを負担すべきという観点から負担金の交付が開始された。諸施設の老朽化が進んでいることから、これに対応する工事費は増加傾向にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	土地改良施設維持管理工 事件数	13	3	3	件	→→
②	市内における米生産量	807.30	789.40	816.60	t	→→	千葉県から示された生産数量
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない 定性的な成果	安定的な耕作の維持		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆排水機場等の運転管理は、常時水位監視の下で行うものであるため、市が施設を買い上げて管理していくことが予想される。 ◆土地改良施設の維持管理費補助金の内訳は次のとおり。 ①流山市新川土地改良区：1,582,400円 ②流山市土地改良区：111,600円 合計 1,694,000円				
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		12,276,305	12,784,593	13,061,367			
事業費(b)(円)		11,040,605	11,576,433	11,874,807			
うち一般財源		11,040,605	11,576,433	11,874,807			
職員給与費(c)(円)		1,235,700	1,208,160	1,186,560			
人役・職員(人)		0.18	0.18	0.18			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	修繕工事等の積算の適正化。	③取組における課題(Check)	年々の老朽化に伴い修繕箇所が絶えない。
②H30に実施した取組(Do)	県による定期検査によって改良区の積算の適格性を確認した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続き、効率的な修繕計画の策定を各改良区に求める。